

2015 年 12 月 15 日

非血縁者間
末梢血幹細胞採取認定施設
採取責任医師 各 位

公益財団法人 日本骨髄バンク
ドナー安全委員会

非血縁者間末梢血幹細胞採取時の採取針の留置について

拝啓

時下、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素より骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、非血縁者間末梢血幹細胞採取時に両側前肘部の静脈へ採取針を前日から留置することの可否について、非血縁者間末梢血幹細胞採取施設から問い合わせがありました。

これを受け、当法人(ドナー安全委員会)で検討した結果、下記とすることとしました。

つきましては、内容をご確認いただき、適切なご対応をお願い申し上げます。

敬具

記

■基本方針

骨髄バンクドナーに対しては、両側前肘部の静脈への採取針の留置は禁止とする。

理由: 5 年前血縁者間でのアフエレーシスの際に、左肘静脈に 3 日間留置した針の先端部分が破損した症例が報告されていることから、ドナーの方の安全確保の観点から禁止とすることとしました。

以上

■本件に関する問い合わせ先
公益財団法人 日本骨髄バンク
ドナーコーディネート部 折原
TEL 03-5280-2200